



「狐原山」の草刈り&桜を活かす景観整備

～7月23日(日) in 湯来町白砂 【参加者】59名～

47名(育成講座受講生5名含む)・地元湯来ふるさとプロジェクト会員：9名 湯来体育館：3名



今回は、「刈り払い機や 長柄鎌による草刈りグループ」、「支障木伐倒を中心にしたグループ」、「もりメイト育成講座第27期受講生の皆さんを中心とした刈り払い機講習会のグループ」、そして「湯来体育館の皆さんによるエコスタック作り班」、「地元湯来ふるさとプロジェクト会員の皆さんによる溝そうじや昼食づくり」などに分かれて

作業を行いました。この『エコスタック』とは、枝や刈った草などを積み、カブトムシなどの昆虫や小さな生き物が生息する場所となるものです。

各グループのリーダーは朝7時45分までに集合し、担当エリアを確認、機材を各グループ用に振り分けました。今回は、遊歩道の草刈りを最優先とし、サクラの支障木を伐り、適材をエコスタック用に運ぶのが主な作業です。オリエンテーションでは各班の担当エリア等の説明後、それぞれのグループに別れて事前ミーティングを行い、担当エリアへ向かいました。各グループとも休憩をこまめにとり、熱中症対策には万全を期しました。

作業終了後は道具の整備。チェーンソー・刈り払い機

鎌・ノコギリをそれぞれ使った人が手入れをして軽トラックに積み込んだ後、グループ毎に集まりミーティングを行い、作業の結果や安全事項や気づきの意見を出し合いました。

正午あたりからお楽しみの昼食タイムに入り、「湯来ふるさとプロジェクト」会員の皆さんが準備して下さった七夕汁(星形のオクラ入り)とおむすびをいただき、無事に例会を終了しました。

今回は、遠方の湯来町で、かつ、暑い最中の例会であったにもかかわらず、総勢60名近くに及び近年では最大規模の参加者数となりました。改めて皆さまに御礼申し上げます。 **《 3班:土谷 正樹 》**





エコスタック
杉のぬくもりに山守とて自然にまかすのであり、落ち葉や枯れ枝が
いり、山守の活動や自然の循環を生かして自然環境を守りつづけること
を目的として、適切な費用を必要とする必要があり、
たいまつとしても活用できます。
ご近所の方には自由にお持ち帰りください。

